

第34期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日



aveX

01 株主の皆様へ

来るべきタイミングでの
更なる飛躍を目指す

03 決算ハイライト

05 ニュース&トピックス

07 エイベックスの社会的責任

08 株式データ

09 株主の皆様へのお知らせ

10 会社概要

Really! Mad+Pure

来るべきタイミングでの 更なる飛躍を目指す

代表取締役社長CEO
黒岩 克巳



新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様には一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。また、医療従事者の皆様をはじめとして治療並びに感染防止にご尽力されている皆様に心からの敬意と感謝の意を表します。

2021年3月期の業績

当期の業績については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴うライブ・イベントの開催自粛の影響等により、売上高が815億27百万円(前期比39.8%減)となり、営業利益は売上高の減少に伴い62億78百万円の営業損失(前期は営業利益40億33百万円)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産の売却による特別利益の計上等により128億31百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失11億2百万円)となりました。

コロナ禍における取り組み

当社グループは、コロナ禍における戦略として2つの指針を掲げ事業を推進してきました。まず「ハイブリッド型のライブ・ソリューション

の推進」として、コロナ禍の環境に適合したオンラインとオフライン双方でのライブを約260回実施し、収益の最大化を図りました。2つめに「デジタル・ネットワークの構築と最大化」として、デジタル環境でヒットするコンテンツIP(以下「IP」)創りやオンラインでのマネタイズ機能を強化してきました。そうした戦略の一環として取り組んだYouTubeの活用では、YouTuberとアーティストとのコラボレーションや新しい世代へのコンテンツアプローチを行うとともに、新しいサービスや機能の拡充を行うことで、チャンネル登録者数は約半年の間で300万人増加し、2,000万人を超えるチャンネルネットワークに成長させることができました。また、希望退職制度の実施による企業体質の強化と将来を見据えた適正な人員体制の構築、本社ビル売却による経営資源の有効活用等、働き方の変化に合わせた経営の効率化にも取り組みました。

営業利益の「黒字化」達成を目指す

2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響は続くものと予測していますが、2つのMISSIONを掲げ、営業利益の黒字化を目指していきます。

MISSION 1

ライブ市場の回復に依存しない収益構造の確立

ライブ市場が、コロナ前の水準に戻るにはまだしばらく時間がかかると予想されます。一方で、音楽市場は、コロナ禍においてデジタルシフトが加速し、ストリーミング再生が右肩上がりの成長を続けており、映像配信・アニメ産業市場は、ホームエンタテインメント需要の増加に伴い好調に推移しています。2022年3月期は、上記市場に関わる事業の収益を最大化することで、営業黒字の達成を目指していきます。

このMISSIONの達成に向けて、「IPの育成・強化」「デジタル・マネタイズ機能の最大化」の2点に注力していきます。「IPの育成・強化」では、サブスクリプションでのヒット楽曲の拡張、外部パートナーとのIP育成、エイベックス・カルチャーのトライブ化、モデル・タレント・アクターの発掘・育成、アニメIPへの積極的な投資等に取り組んでいきます。「デジタル・マネタイズ機能の最大化」では、「DFM（デジタル・ファンマーケティング）の再構築」「外部パートナー連携の強化」の2点に注力していきます。「DFMの再構築」は、分散していた個々のサービスを結合し、一元的に提供を行うことでファンコミュニティビジネスの最大化を図ります。「外部パートナー連携の強化」は、株式会社NTTドコモと取り組むdTVの更なるコンテンツ拡充と宣伝強化や、YouTubeとSpotifyからダイレクトに商品を届けるアーティストグッズ販売プラットフォームの「MERCHBAR」との提携に取り組んでいきます。

MISSION 2

グローバル市場・新たなテクノロジー市場への着手

テクノロジーの発達により、エンタテインメントの世界でも時間や距離、言語の違いを感じさせない、市場のボーダーレス化が進んでいます。そうした市場に対して、世界基準のグローバルIPを具体的にローンチしていきます。「海外向けIP」では、これまで育成してきたアーティスト「WARPs UP」「INTERSECTION」のメンバーが、中国における期待のグループ「INTO1」としてデビューします。また、アニメにおいては、ゲームコンテンツとして海外にファンの多い作

品「マブラヴオルタネイティブ」、Netflixとパートナーシップを組んで全世界に向けて発信していく「スプリガン」等、海外市場をターゲットにしたグローバルIPを配信していきます。このグローバルIPを世界に届けるため、グローバル・パートナーとの連携を強化していきます。アメリカのAEG Presentsとの提携もそのひとつです。そして、NFT※の活用等「次世代エコノミー市場への着手」を実行し、テクノロジーの発達によるマーケットの多様化に合わせたビジネスの拡大を図っていきます。

※ NFT (Non-Fungible Token：非代替性トークン)は偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータです。

株主還元について

株主還元については、連結配当性向35%以上、年間配当金の最低水準50円という配当方針を掲げており、2021年3月期の年間配当金は1株当たり121円とさせていただきました。2022年3月期についても、この方針に基づき、1株当たりの年間配当金を50円とする予定です。

来るべきタイミングでの更なる飛躍を目指す

今期は、MISSIONに掲げた「ライブ市場の回復に依存しない収益構造の確立」で、不安定な環境に左右されない確固たる基盤を形成するとともに、「グローバル市場・新たなテクノロジー市場への着手」で、グローバルIPをローンチしていきます。そして将来的には、コロナ後のリアルエンタテインメント市場の回復による成長と、グローバルIPのヒットが実現できれば大きな成長も実現できると考えています。そうした来るべきタイミングでの更なる飛躍を視野に入れながら、2つのMISSIONを推進してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

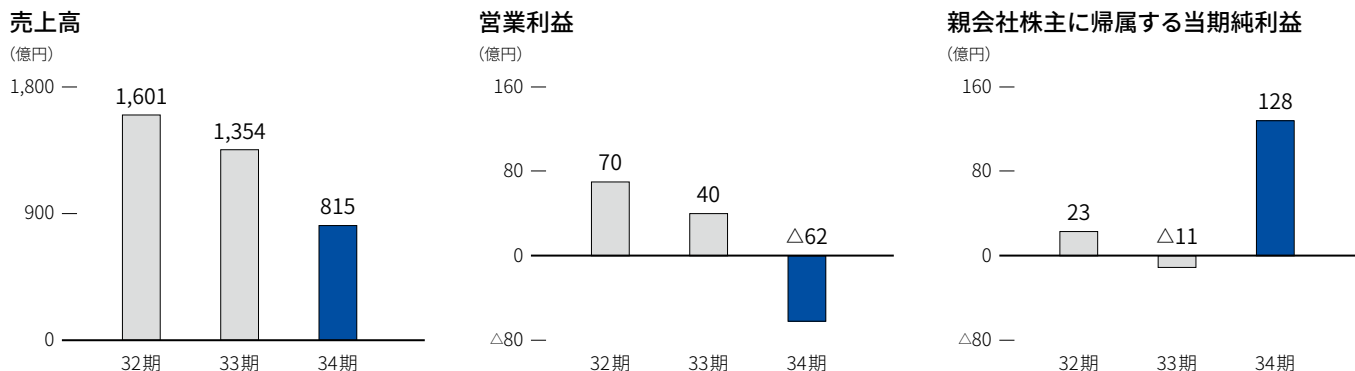
2021年6月

代表取締役社長CEO 黒岩 克巳

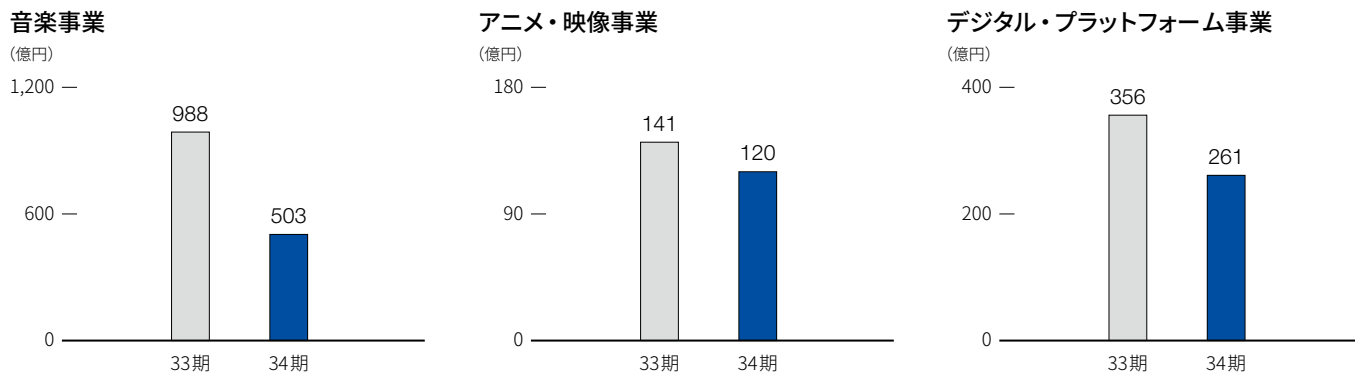
決算ハイライト

連結業績においては、音楽事業における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、ライブ・イベントの開催を自粛していること等の影響、アニメ・映像事業におけるパッケージ作品の販売数やイベント関連の売上の減少及びデジタル・プラットフォーム事業におけるEコマース及び映像配信の売上が減少したこと等により、売上高は815億27百万円(前期比39.8%減)となりました。営業利益は、売上高の減少に伴い62億78百万円の営業損失(前期は営業利益40億33百万円)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失及び割増退職金が発生したものの、固定資産売却益及び投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと等により128億31百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失11億2百万円)となりました。

連結業績の推移



セグメント別売上高の推移



連結貸借対照表の要約

	(単位：百万円)	
	第 33 期	第 34 期
流動資産	54,432	84,716
固定資産	65,981	20,389
流動負債	64,449	45,138
固定負債	6,515	1,626
純資産	49,449	58,339
総資産／負債及び純資産	120,414	105,105

流動資産は、現金及び預金の増加等により302億84百万円の増加、固定資産は、土地と建物及び構築物の減少等により455億92百万円の減少となりました。

また、流動負債は、短期借入金の減少等により193億10百万円の減少、固定負債は、長期借入金の減少等により48億88百万円の減少となりました。

自己資本比率は負債の減少等により52.6%となり、ROEは親会社株主に帰属する当期純利益の増加等により25.3%となりました。

連結損益計算書の要約

	(単位：百万円)	
	第 33 期	第 34 期
売上高	135,469	81,527
売上原価	96,375	55,908
売上総利益	39,093	25,618
販売費及び一般管理費	35,060	31,897
営業利益 (△は損失)	4,033	△ 6,278
経常利益 (△は損失)	3,017	△ 6,538
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は損失)	△ 1,102	12,831

その他の指標

1株当たり当期純利益	298.11円
1株当たり純資産	1,335.38円
1株当たり年間配当金	121.00円
自己資本比率	52.6%
ROE (自己資本当期純利益率)	25.3%

ニュース&トピックス

世界最大級のライブ・エンタテインメント企業 AEG Presentsと共同事業「AEGX」をスタート

エイベックス・エンタテインメント株式会社は、アメリカに本社を持ち、アリーナ・ホール等の施設運営、スポーツ・音楽興行ビジネスを展開する世界最大のライブ・エンタテインメント企業AEG (Anschutz Entertainment Group)の音楽興行部門であるAEG Presentsと、相互補完的パートナーシップを締結し、共同事業「AEGX (エーイージーエックス)」をスタートしました。AEGXは、アジアのアーティストやコンテンツを世界中の音楽ファンに届けることができるように、AEG Presentsが世界各国に保有するアリーナ・シアター等の興行施設、フェスティバルやグローバルツアーパートナーシップを活用していきます。同様に、AEG Presentsは、エイベックス・エンタテインメントの日本における独自のリソースとプラットフォームを活用し、日本の音楽ファンに向けた海外アーティストのマーケティングを実現すると同時に、ライブ・イベント市場を拡大していきます。今後、両社は、日本におけるAEGアーティストの共同プロモーション、新たな音楽フェスティバルや興行施設の共同開発、エイベックスの所属・契約アーティストにとどまらない、アジア圏アーティストのグローバルツアーのプロモーション等、それぞれの強みを活かし、アーティストの育成とライブ・エンタテインメントの両方において、国際的な機会を創出していきます。

AEGX

エイベックス所属アーティストが、中国の 大人気オーディション番組からグループデビュー決定

「WARPs UP」のサンタ、リキマル、そして「INTERSECTION」のミカの計3名が、中国で圧倒的な人気を誇るオーディション番組「創造営2021」にて最終メンバーに選ばれ、ボーイズグループ「INTO1 (イントゥワン)」としてのデビューが決定しました。

「創造営」は、数カ月間にわたる共同生活と撮影を経て、最終まで勝ち残った11人がグループを結成して活動するサバイバル系のオーディション番組です。シーズン4の今回は、全世界から90名が参加し、過去最高のシーズン累計50億回以上も再生されたといわれています。

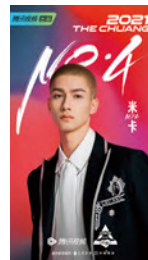
今回の成功は「アジア」を成長市場のひとつと捉え挑戦してきた当社グループにとっての大事な一歩となりました。この成功をベンチマークとして、今後も、音楽、アニメ、ゲーム等のIPをグローバル戦略に基づいて生み出し、海外市場におけるシェアの拡大を目指します。



サンタ
(WARPs UP)



リキマル
(WARPs UP)



ミカ
(INTERSECTION)

YouTubeとSpotifyでアーティスト公式グッズの販売を開始

エイベックス・デジタル株式会社は、YouTube公式アーティストチャンネルとSpotifyのアーティスト・プロフィールページで、アーティスト公式グッズの販売を開始しました。動画共有サービスや、定額制音楽・映像配信サービス等のデジタル・プラットフォームの発展に伴い、映像・音楽コンテンツのボーダーレス化が進んでいます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ユーザーとのリアルな接点が制限される中でデジタル・シフトはさらに加速し、デジタル・プラットフォームの重要性はこれまで以上に高まっています。このたび、YouTubeとSpotifyのオフィシャルECパートナーであり世界最大級のアーティストグッズ販売プラットフォーム「MERCHBAR」とシステム提携を行うことで、YouTubeとSpotifyでのアーティスト公式グッズの販売を実現しました。さらに、世界150カ国以上に配送可能な物流代行サービス「NEOlogi」を活用し世界中からの注文に対して、直接配送する仕組みを整えました。また、同システム提携を活用して、国内のアーティストや事業者向けの販売・配送代行プラットフォーム「MD-SASS」を独自開発し、提供を開始しました。「MD-SASS」では商品登録と在庫手配を行うだけで、「MD-SASS」を通して、世界中のユーザーに公式グッズの販売が可能となります。エイベックス・デジタルは、エイベックスの所属・契約アーティストだけでなく、幅広い国内アーティストの公式グッズを世界中に届けることを目指します。



MD-SASS
MERCHANDISING SALES AGENT SERVICE SOLUTION

日本発のプロダンスリーグ「D.LEAGUE」へ参画

当社は、株式会社Dリーグによって発足された日本発のプロダンスリーグ「D.LEAGUE」に「avex ROYALBRATS (エイベックス ロイヤルブラッツ)」を結成し、チームオーナーとして参画しました。「D.LEAGUE」は、“世界中すべての人に、「ダンスがある人生」をもたらす”をミッションに掲げる、日本発のプロダンスリーグです。全9社がチームオーナーとして参画し、総勢9チームがレギュラーシーズンを戦い、上位4チームによるチャンピオンシップを行います。「avex ROYALBRATS」は、チームの監督的な役割となるディレクターに、Instagramで約45万人のフォロワーを抱え、国内外アーティストから幅広い支持を受けるダンサー・アーティストの「RIEHATA」を迎え、ダンスジャンルとしてHIPHOPカルチャーを軸に常にトレンドを発信し、全ての人に刺激やエネルギーを与えるようなチームを目指します。「D.LEAGUE」の発展により、これまで以上にダンサーを目指す人やダンスの観戦を趣味にする人が増え、ダンスエンタテインメントの裾野が広がることを期待しています。そして国内のダンサーに大きな新しい夢の形を提供し、日本の新たなダンスカルチャーの創造と発展に貢献していきたいと考えています。



エイベックスの社会的責任

小児がんの子供たちを元気づけるチャリティーライブを開催

「AVEX&HIROTSU BIO EMPOWER LLC.」が社会活動をサポートしている小児がん基金一般社団法人「Empower Children」は、株式会社朝日新聞社と共同主催による音楽イベント「LIVE EMPOWER CHILDREN 2021 supported by Aflac」を、2021年2月15日の国際小児がんデーに合わせて開催しました。「LIVE EMPOWER CHILDREN 2021 supported by Aflac」は、エイベックスのサステナビリティ活動の一環で、“エンタテインメントは、子供たちの「生きる力」をつくる。”をテーマにアーティストが小児がんの子供たちを音楽で元気づけるためのチャリティーライブです。2回目の開催となる今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、無観客・無料生配信でのオンライン初開催となり、YouTube、LINE LIVE、mu-mo LIVEの3つのプラットフォームで同時生配信を行いました。一部の小児がん拠点病院と連携し、病室で闘病生活を送っている小児がんの子供たちに向けた視聴の実施等、前回より多い約12万人（アーカイブを含む）の方にご視聴いただきました。また、坂本龍一氏とつんく♂氏が初の共同制作による「LIVE EMPOWER CHILDREN」のテーマソング『My Hero～奇跡の唄～』を制作し、全プラットフォームで配信するとともに、パッケージでの販売も行いました。さらに、mu-mo LIVEではドネーション付視聴チケット、YouTubeではスーパーチャットによる投げ銭等、多様な寄付プラットフォームを活用したことで、海外からも寄付が集まり、新しい寄付・チャリティーの形を創ることができました。「支援の思い」に共感いただいた視聴者の皆様からは多くの寄付金が集まり、全額を一部の小児がん拠点病院や小児がんサポート団体に寄付しました。



古坂大魔王、国連環境計画のUNEPサステナビリティアクションのアドバイザーに就任

エイベックス・マネジメント株式会社所属の「古坂大魔王」は、国連環境計画 国際環境技術センター が主導するUNEPサステナビリティアクションのアドバイザーに就任しました。UNEPサステナビリティアクションは、地球環境問題、特に循環資源からサステナビリティの促進を目的とし、国連・政府・企業・市民・その他機関がつながる横断的なネットワークです。地球を守るエコな暮らしをテーマに、普段の暮らしからサステナビリティを考え、環境にやさしい社会をつくり、持続可能な地球にすることを目的に活動しています。このたび、「古坂大魔王」は、自身の地球環境に関する発信や、プロデュースする「ピコ太郎」が外務省から「SDGs推進大使」に任命され、2017年より活動が続けていること等が評価され、アドバイザーに就任しました。2021年3月25日、26日にオンラインで、国連が開催したグローバルなSDGsの祭典「SDGs Global Festival of Action from Japan」に登壇し、「本気で取り組むSDG12“ごみから未来を考える”」というテーマのプログラムに参加しました。今後、ほかのチームメンバーとともに、啓発活動に関する企画・計画・戦略を創り上げていくほか、さまざまなイベントへの登壇も予定しています。



株式データ (2021年3月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数：

184,631,000株

発行済株式総数：

45,343,500株

1単元の株式数：

100株

株主数：

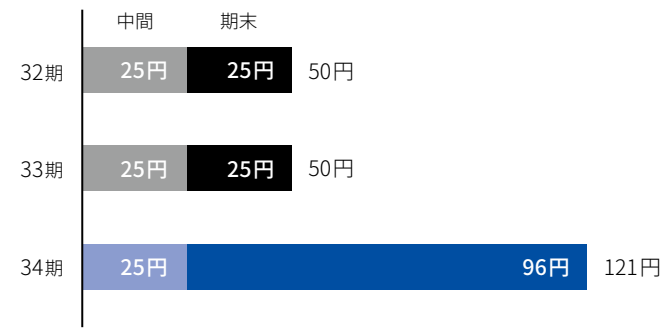
39,763名

大株主(上位10名)

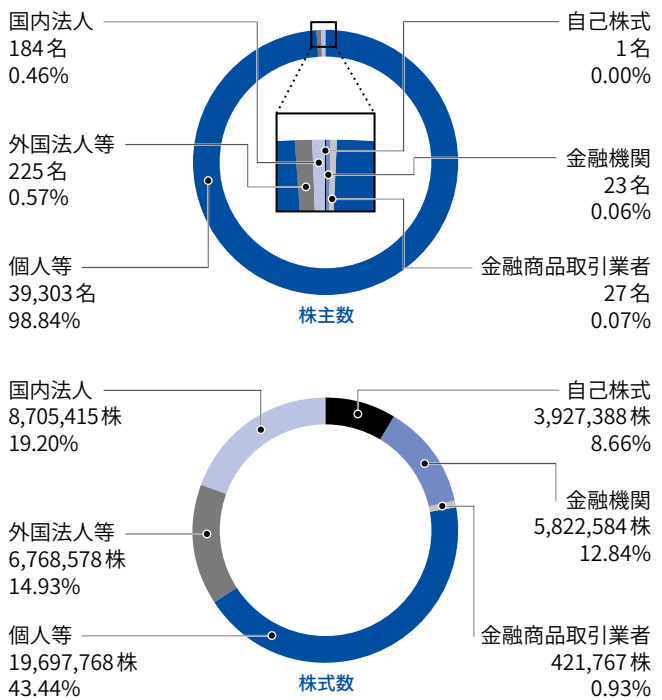
株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,568,000株
株式会社マックス2000	2,300,000株
有限会社ティーズ・キャピタル	2,250,000株
株式会社サイバーエージェント	2,000,000株
3D OPPORTUNITY MASTER FUND	1,361,200株
小林 敏雄	1,157,818株
株式会社第一興商	1,020,000株
松浦 勝人	759,224株
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	731,500株
林 真司	700,550株

注) 1. 上記以外に当社保有の自己株式3,927,388株があります。
2. 株式会社マックス2000は当社代表取締役会長松浦勝人が代表取締役を務めています。

配当の推移



株式分布状況



株主の皆様へのお知らせ

株主優待内容

当社では、基準日(毎年3月31日)現在の株主の皆様を対象に、株主優待を実施しています。(当社コーポレートサイト内「株主優待」のページからもご確認いただけます。)

a-nationチケット優先予約制度

株主優待のa-nationチケット優先予約制度の変更はございません。ただし、2021年のa-nationの開催は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せないことから、現時点においては開催方法等含め未定となります。a-nationの開催については、開催方法等含め決定次第、株主様専用サイト「avex shareholders club」にて改めてお知らせさせていただきます。

「dTV」「AWA」を一定期間ご利用いただけるコードを進呈

映像・音楽の視聴方法の多様化に対応し、より手軽にスマートフォンやパソコン等で新たなサブスクリプション型の映像・音楽配信サービスを体験していただきたく、当社株式を100株以上保有する株主様を対象に、映像配信サービス「dTV」、音楽配信サービス「AWA」を一定期間ご利用いただけるコードを進呈させていただきます。(株主様専用サイトからのお申し込みが必要です)

dTV AWA

株主様専用サイト「avex shareholders club」

株主の皆様とのコミュニケーションを深め、当社をよりご理解いただくことで、少しでもエンタテインメントの魅力を感じていただきたい。そして当社のファンになっていただきたいという思いから、株主様専用サイト「avex shareholders club」を開設しています。株主優待のご案内や株主様へのお知らせ等は、株主様専用サイトへの掲載及びご登録時のメールアドレス宛にお知らせしますので、株主の皆様は是非ご登録いただきますようお願いいたします。



avex shareholders club
<https://avex.com/jp/ja/ir/shareholders/>

会社概要 (2021年3月31日現在)

会社名	エイベックス株式会社 Avex Inc.
本社所在地	〒107-8577 東京都港区南青山三丁目1番30号
設立年月日	1988年(昭和63年)4月11日
資本金	44億4,342万8,800円
従業員数	146名 (グループ従業員数1,549名)

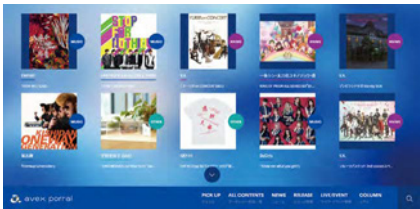


コーポレートサイト
<https://avex.com>

役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役会長	松浦 勝人
代表取締役社長CEO	黒岩 克巳
代表取締役CFO	林 真司
取締役(非常勤)	見城 徹
取締役 常勤監査等委員	小林 伸之
社外取締役 監査等委員	大久保 慶一*
社外取締役 監査等委員	玉木 昭宏*
社外取締役 監査等委員	杉本 佳英*

* 東京証券取引所が一般株主保護のため確保することを義務付けている独立役員です。



アーティスト、商品等のポータルサイト
<https://avexnet.jp>



エイベックス株式会社

〒107-8577 東京都港区南青山3-1-30

Avex Inc.

3-1-30 Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-8577, Japan

●この冊子に関するお問い合わせ先

エイベックス株式会社

経営管理本部 経営企画グループ <https://avex.com/jp/ja/contact/ir/>

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料) 郵送先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部(証券コード：7860)

ご案内

公告の方法

電子公告により行います。

公告掲載URL <https://avex.com/jp/ja/public/koukoku/>

(ただし、電子公告によることができない事故、そのほかのやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)

株式の手続き

- 証券会社の振替口座でお持ちの株式 ➤ 口座を開設している証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式 ➤ 上記特別口座の口座管理機関、もしくは同機関の全国支店までお問い合わせください。

配当金計算書について

同封した「配当金計算書」は、配当金額のご確認にご利用いただけます。

なお、配当金を証券会社の口座でお受け取りの方は、同証券会社にてご確認ください。